

投票番号
6

おばあちゃんキッチン

- 高齢者が集まって楽しくお料理をつくる（朝ごはん、お惣菜）
- 地域のお料理が得意なおばあちゃん達が働ける場所
- 観光客や移住者、地域の人達との繋がりをつくる
- 65歳以上の方が中心に働く場
- 外出の機会を促進
- 逝くまで元気！への取り組み

環境や身体に
優しいおばあち
ゃん達の
手作り料理



事業の
ねらい

- 人と話す環境を整えることにより認知症予防や健康増進につながる
- 無駄な病院通いを減らし若者への社会保険料負担も減らす
- 働く喜びや役割を持つことで自身を取り戻してもらい老いを緩やかに過ごす
- 戸田での宿泊者の朝ごはん問題を解決

事業計画書

事業名	おばあちゃんキッチン
実施場所	戸田
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 8年 9月 15日 ~ 9年 3月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

生涯楽しく元気で生きがいを持って過ごす為のコミュニティの場
長年やってきたことで無理なく働き自分の価値を再認識してもらう
おばあちゃんたちが集うお惣菜キッチンを作る

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

戸田地区は高齢化が進み一人暮らしの高齢者も増えている。一人で家にいるより少しでも外出できる環境を整えてあげたい。ゆっくりお茶を飲みながら雑談するだけではなく、たまには仕事という認識を持って雑談をしながら作業ができたかどうか？役割は生きがいになる。高齢者と言えまだまだ元気な方もたくさんいる。短時間で息抜き程度に働ける場所がおばあちゃんキッチンです。

ここは高齢者がメインで働く場所だから若い人に気兼ねすることもない。

少くくらい出来ないことが増えても長年やっているお料理で人に喜んでもらい生きがいを感じることができるのではないかと考えている。

不謹慎な意味ではなく私は多くの方に PPK（ぴんぴんころり）を目指してもらいたいと思っている。人は例外なく老いて逝く時が来る。

緩やかに生きがいを持って過ごして行く為には役割を持つことと感じている。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。

9月～12月31日 1月～2月28日 3月～	改修工事 備品調達、人員募集、研修 事業開始 おばちゃん達が集いお惣菜作りと販売を行う
------------------------------	--

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。 働くということで生きがいを感じ楽しく生活を送る。 集まることで元気で過ごせているかお互いに確認ができる お年寄りと住民と観光客を繋げる。 医療費の削減			
成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。 来店者数	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。 アンケートなど

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。 一人で家にいる時間を減らし人と話す環境を整えることにより、 認知症予防や健康増進につながる 時間を有意義に使うことで必要のない病院に通うことも少なくなり、 介護費用や医療費の負担が少なくなると考える 結果、若者への社会保険料負担も減らしていけると考える
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。 戸田地区は高齢化が進み一人暮らしの高齢者も増えている。一人で家にいる時間を減らし人と話す環境を整える なるべく多くの高齢者に登録して頂き交代で従事してもらおう
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。

	高齢になって自信をなくし、若い人の中では働くことを躊躇してしまうと感じている 65 歳以上の方がメインになって働いてもらう職場 助け合いお互い様で働ける場所 いずれはみんな歳を取ることを受け入れられる場 2040 年問題となっている高齢化社会に向けての準備事業になると考える 健康な高齢者への労働環境の整備は必要になると考える
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。 宿泊施設を運営しながらのキッチンの有効利用。 お惣菜業の許可を得るために自己資金にて簡易キッチンを設置中である 申請者は調理師免許を取得しており、キッチンとその他の場所の改修が 終われば申請及び許可を得られる状況にある 宿泊者のみならず周辺の方にも利用してもらえるように整えていく
発展性	※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも 十分か。 おばあちゃんキッチンの土台となるのが宿泊施設の運営 夜営業や朝食営業のお店が少ない戸田地区なので宿泊客の食事の選択肢になる 目の前が海なので釣りの方にも便利に使っていただける環境でもある 量り売りを中心としてなるべくプラスチック容器を使わないことにより環境 への配慮と意識付けになるのではないかと考える 地域おばちゃんと連携して戸田の郷土料理などの復活に貢献したい

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または 2 回目の応募で、助成の継続（最大 3 年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。 お惣菜とお弁当の種類を増やして販売 飲み物なども増やしていく 地域の方と連携して戸田の郷土料理の復活や周知を広げていく 若い方や観光客との繋がり場の場所づくりを広げていく おばあちゃんのコミュニティによる周知と SNS を使った周知 社会貢献事業として新聞社等の投げ込みを行う 観光協会などに周知の協力をお願いする アンケート等来店者の声を拾い上げながら次のステップに繋げていく 同建物内でゲストハウスも運用しており、現在プレ営業中であるが 10 月～改修工事に入る 4 月より本格的に営業する為、宿泊者利用も見込み相乗効果を得る
--

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評と実績を踏まえた改善点等について記載してください。
